



地域と連携した有機農業 推進への取組

青森県黒石市

くろいし有機農業推進協議会



黒石市における有機農業推進に向けた取組

令和4年度に取組むこととしている事項

- ・（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所と連携した市内農産物の有機栽培の取組及び展示実証圃による土壌分析
- ・先進地視察
- ・学校給食への有機米の試験提供
- ・有機農業のための機械の実演講習会
- ・有機資材取得支援、有機JAS認証取得支援
- ・加工食品の試作



黒石市における有機農業推進に向けた取組

令和4年度に取組むこととしている事項

- ・ **(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所と連携した市内農産物の有機栽培の取組及び展示実証圃による土壌分析**
- ・ 先進地視察
- ・ 学校給食への有機米の試験提供
- ・ 有機農業のための機械の実演講習会
- ・ 有機資材取得支援、有機JAS認証取得支援
- ・ 加工食品の試作

有機水稻実証試験に至るまでの経緯



- 『ムツニシキ』はかつて、1972年にデビュー、1998年まで青森県の奨励品種となっていたが『つがるロマン』などへの切り替わりや、当時は多収を求める農業者が多く、作付が徐々に減少。
- 米の消費が減るなか、用途別に個性的な米を求める時代となり、主食用との隙間を狙い寿司に向くという付加価値をもった米として、平成27年より復活に着手、平成30年秋に寿司米として復活、デビューを果たし、現在に至る。
- みどりの食料システム戦略を農林水産省が打ち出した中で、**ムツニシキを有機農業で栽培し、更に付加価値をつけることができないか**検討していた中で、**(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所へ実証の協力を依頼したところ、了承を得たことから、実証事業を開始した。**

水稻現地実証試験ほ場①

黒石市大字大川原字大鉄沢17-1、18-1



○面積 3,036m²

2筆を合筆

○品種 ムツニシキ

○育苗方法 密苗

○植付日 6/6

○使用資材

有機アグレット

水稻現地実証試験ほ場② 黒石市大字大川原字木ノキ沢64-1



- 面積 1,469㎡
- 品種 ムツニシキ
- 育苗方法 中苗
- 植付日 5/28
- 使用資材
有機アグレット

水稻現地実証試験ほ場③ 黒石市大字大川原字木ノキ沢49-1



- 面積 1,158㎡
- 品種 ムツニシキ
- 育苗方法 密苗
- 植付日 5/28
- 使用資材
有機アグレット

実証試験概要について

①ほ場の地温及び気温の測定



【設置の目的】
気温及び地温の推移を把握することで、平地との水稻生育差の検討や栽培管理作業の最適化に向けた判断材料とするため。

【内容】
気温及び地温データは60分毎に記録され、水稻生育期間を通じて蓄積される。

実証試験概要について

②害虫把握のためのフェロモントラップ



【設置の目的】
地域における多発生害虫及び発生消長を把握するため。

【内容】
チョウ目害虫4種類のフェロモントラップで発生時期及び発生量をモニタリング。
粘着式トラップを設置し、一定期間毎に誘殺された成虫を計測。

実証試験概要について

③ 除草効果確認のための調査枠設置



【設置の目的】
除草機導入による除草効果を確認するため。

【内容】
除草剤の効果判定試験法に準じ、一定面積の枠を設置し、除草作業を行わない部分を確保。枠内と除草を行った部分の残草数及び雑草の種類を比較。



黒石市が目指す将来のビジョン

- ▶ みどりの食料システム戦略事業の活用により、
- ▶ ○当市の有機農業者が抱える課題の解決
- ▶ ○当市における有機農産物の高付加価値化、販路の確保
- ▶ ○有機農業者の所得向上
- ▶ に寄与する事業展開を実施。



- ▶ 『有機の郷くろいし』を目指します。